

# 高齢者施設等看取り研修会 意見交換会のまとめ

テーマ： 「看取りケアに取り組むにあたっての不安」 「医療と施設間の連携」

現状・不安に感じること	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医師が常駐していないことに不安を感じている。</li><li>・ 土日、夜間に看護師がいないことが不安。</li><li>・ 夜勤の介護職員が一人なので不安を感じている職員がいる。</li><li>・ 夜間に医師や看護師に電話することに躊躇する。</li><li>・ 看取りの人が二人重なったら、どこまでできるだろうか。</li><li>・ 看護師が不在のため、緊急時が管理者が駆けつけて対応している。</li><li>・ 何かあればすぐに救急車を呼んでいる。</li><li>・ 食事が摂れなくなったときの対応をどこまですればいいのかははっきりしていない。</li><li>・ 利用者の意思や家族の思いをどう理解するか。</li><li>・ 看取りの時期で何もしない（延命をしない）ことに慣れていない。</li><li>・ 親族などでも、看取りの経験のある職員が少ないため、死への不安が強い。</li><li>・ ご家族への説明や対応は医師が応じてくれたら、と思う。</li></ul>
医療との連携	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 看取り期や、状態が不安定な利用者の状況を医師へ報告する体制を施設でつくっている。</li><li>・ 看取り期の利用者の状態報告を朝6時に定期連絡するように決めている。</li><li>・ 利用者の状況について、施設外の多職種とも共有できる記録ノートを活用している。</li></ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 実用的な看取りの手順書（マニュアル）の整備。</li><li>・ 病状などでの看取り期の経過の違いがわからない。いま、どの段階なのかわからない。</li><li>・ どのタイミングで、どの程度で、訪問看護に連絡すればいいのか悩む。</li><li>・ 管理者の立場でも、スタッフや自分自身が納得できる知識が足りない。</li><li>・ 訪問看護でサービスに入った時に日常生活の状況が把握しづらい。</li><li>・ 連絡書式の統一化。</li><li>・ 組織内（法人内など）での連携はできているがその他との連携方法。</li></ul>